

研究課題「職場の健康促進環境が労働者の身体活動に及ぼす影響」にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、「職場の健康促進環境が労働者の身体活動に及ぼす影響」に関する研究を実施しています。

【研究課題】

職場の健康促進環境が労働者の身体活動に及ぼす影響（審査番号：10919）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野

研究責任者 川上憲人 東京大学医学系研究科 精神保健学分野・教授

担当業務 データ収集・データ解析

【共同研究機関】

なし

【研究期間】

2015年7月31日～2020年7月30日

【対象となる方】

2015年9月7日～2016年5月18日の間に、関東圏の事業所において雇用されている労働者の方で、18歳以上の方で、調査票に回答した方。

【研究の意義】

身体活動とは、安静にしている状態よりも消費エネルギーの多い、あらゆる動作を含みます。この身体活動を増やしていくことで、体と心の健康が促進されることが分かってきています。労働者の場合は、身体活動を増やしていくために職場の環境が有効であることが示唆されていますが、日本において、どのような職場環境が有効であるかということは、まだあまり知られていません。そこで、研究によってその問題を解決し、労働者の身体活動を増やし、健康を増進していく必要があると考えられます。

【研究の目的】

この研究では、職場の環境が労働者の身体活動へ及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学

系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究は、2回の調査にて実施されます。調査票に添付された説明文書をお読みになって、内容に同意された場合は、調査票へお答えください。2回の回答が完了すれば、調査は終了です。

2回の調査を通じて測定される項目は下記を含みます。

事業所単位の情報：

1) 職場の健康促進環境

労働者単位の情報：

2) 身体活動量

3) 心理的ストレス反応

4) 個人が知覚する身体活動のための職場環境

5) 身体活動のための自己調整

6) 身体活動実施の自己効力感

7) 仕事のストレス

8) 年齢、性別、婚姻状況、教育歴、労働時間、雇用形態、勤務形態

【個人情報保護】

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。調査は無記名で行い、社員番号をID番号とすることで、同一の個人であることを確認いたします。社員番号がどの人物を意味するかを研究従事者は知ることができないため、個人が特定されることはありません。得られたデータは、東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 医学部3号館 S305室にて厳重に保管します。なお、従業員個人の結果は、事業所を通じて、社員番号としてお返しすることが可能です。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本学術振興会科学研究費 特別研究員奨励費、および東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野室の運営交付金から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：渡辺和広

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話 : 03-5841-3364 FAX : 03-5841-3392

メールでのお問い合わせ : kzwatanabe-tky@umin.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1
ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。